

発 行

福井県大野市天神町1番1号

大 野 市 役 所

電 話 (代) 6-1111

郵 便 番 号 9 1 2

印刷 松浦印刷所



8月の人口の動き

| | | | |
|-----|----------------|----------|------|
| 出生 | 男 29 | 女 28 | 計 57 |
| 死亡 | 22 | 5 | 27 |
| 転入 | 51 | 48 | 99 |
| 転出 | 46 | 51 | 97 |
| 世帯数 | 10,105(前月- 5) | | |
| 人口 | 42,551(前月+ 32) | | |
| | 男 20,426 | 女 22,125 | |

生産性の高い農業へ 上庄地区 モデル農業団地づくり

農村施設等総合整備事業で

上庄地区ではこれまでの水田単作農業から脱皮して、自立経営農家の育成を中心としたモデル農業団地をつくることになりました。「農村施設等総合整備事業」によって、生産、集出荷体制などを立てなおし、生産性の高い農業へ転換しようとするものです。事業はことしから4カ年計画で進め、生産団地づくりや施設、機械の整備などに約10億円をかけ、農業経営の改善に取り組みます。



酪農団地の敷地造成工事、中据で

上庄地区は、農家数995戸、耕地面積は1,100㌔あって、当市一番の米どころ。

現在、県営圃場整備事業が進められており、広域営農団地農道も計画されるなど、近代農業の基盤が整えられつつあります。これに加えて、この大事業を取り入れ、乳牛・養鶏・里芋・たばこなどの農業団地をつくり、経営規模の拡大、農作業の委託、生産の組織化、農産物の集出荷体制の整備を推進し、能率のあがる生産団地として地域を改造しようとするものです。

農村施設等総合整備事業は、国がことし打ち出した新しい施策。全国で16地域が指定され今年度着手するのは上庄地区など8地域、北陸では初めての事業です

約10億円の大事業

自立経営農家200戸を育成

上庄地区の事業計画によりますと、酪農・養鶏・里芋の各生産組合、機械利用組合をつくり、これらの組合と上庄農協がそれぞれ主体となって年次計画によって事業を進めます。事業費は補助対象事業が7億円、単独融資事業が約3億円、合計約10億円を見込んでいます。

中でも酪農・養鶏の畜産団地の造成が大きなウエートを占めています。

養鶏生産組合は、10戸で6万羽養鶏を目ざし、敷地造成と鶏舎13棟の建設など事業費は1億9,700万円余。酪農生産組合は、10戸で300頭飼育を目ざし、敷地造

成、畜舎10棟など1億6,000万円余をかける計画。このほか機械利用組合は水田や園芸の協業施設としてコンバイン、トラクター、育苗施設10棟などを1億800万円余で整備。上庄農協はライスセンター1棟、たばこ乾燥施設2棟などを建設します。

また、この事業の特徴として、農業団地センター（鉄筋コンクリート、一部鉄骨、2階建て、1,014平方㌔）を建設。野菜の集出荷場、機械修理工場、管理センター、研修室を備え、地区の中心施設として利用することにしています。

第1年度の今年度は養鶏・酪農団地の敷地造成などに1億6,000万円をかける計画で、一部は9月に着工しました。

これらの事業を行なうことによって、年間所得200万円～250万円の自立経営農家200戸を育成する計画です。

計画では、酪農専業経営10戸、養鶏専業経営10戸、たばこと水稻の複合経営30戸、水稻と里芋が54戸、野菜と水稻が30戸、このほか水稻の協業組織を育成し自立できる中核農家をつくることにしています。

この事業の補助率は国50%、県10%、市も6%を助成します。

なお、同地区は第2次農業構造改善事業を行なう計画でしたが、これを農村施設等総合整備事業に切り替えました。

家族そろってご参加を 体力づくり県民大会

10月22日、開成中

スポーツの秋にふさわしい体力づくりの大集会「第4回体力づくり運動推進福井県大会」が、次のように開かれます。子供からお年寄りまでだれでも参加できる大会です。家族そろって参加しましょう。

講師にはテレビ放送でなじみ深い体育指導者を招くことにしています。

- と き 10月22日(日)
- 午前8時30分から
- ところ 主会場 開成中グラウンド
- 雨のときは大野高校体育館
- 参加数 1,500～2,000人を予定
- プログラム
- 第1部 さあ集合だ!!歩いていこう
- 第2部 みなさんようこそ(式典)
- 第3部 とびかう子供が未来をつくる
- 第4部 老いも若きも元気にどうぞ(各会場へ分散)
- 第5部 つかれをほぐそう

教育委員に正津氏(再任)、上田氏(新任)

9月定例市議会で同意

第133回定例市議会は9月18日から25日まで開かれ、「一般会計補正予算案」、「教育委員会委員の任命について」など12議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

○…教育委員会委員決まる

10月9日で任期満了となる現教育委員会委員板橋研司氏、正津正之助氏の後任に正津正之助氏(南六呂師、63歳、再任)上田範男氏(森政領家、44歳、新任)を任命することについて議会の同意を得ました。教育委員の任期は4年です。

○…除雪費826万円などを追加

一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ8,694万7,000円を追加し、47年度一般会計予算の総額は18億4,508万9,000円になりました。補正予算では、除雪費826万円計上したのをはじめ、開成中学校の建設基金の積立てに2,000万円、医療費の値上がりによる老人医療費の助成に1,982万円などを追加しました。おもなものは次のとおりです。

—交通安全対策▷防護柵、区画線カーブミラーなどの安全施設に228万円。

—福祉▷敬老会の費用に36万円、5歳繰り下げ70歳からお招きすることに▷老人クラブの補助39万円。▷小遊園地の遊具施設に75万円、5カ所ふやし45カ所に設置。

—衛生▷廃棄物(ゴミ)焼却場に備えるカラス撃退機の購入費30万円。▷衛生処理場搬入路の融雪と舗装工事に240万円。

—農林業▷牧草生産組合への稲作転換促進特別事業補助470万円。▷家畜導入事業補助40頭分32万円。▷広域営農

スマイル

「体育の日」

ぜひ弟子にしてください。

—変身タレント—同

鉄棒金メダル塚原選手殿

コーナ

団地農道の調査費92万円。▷林道の災害復旧工事200万円。

—土木▷稲郷バイパス新設の市負担分150万円。▷市道の補修工事で砂利代280万円。

—都市計画▷善導寺川のしゅんせつ工事に175万円。▷中野排水路の改良は工事費を200万円減らし、用地費に257万円を追加。

—消防▷県消防学校の建設負担金

69万円。

—教育▷上庄小学校の敷地購入費500万円。▷森目小・上庄中学校の理科机購入費141万円。▷蕨生小学校の校庭側壁工事と下庄小学校校舎の屋根防水工事に353万円。▷陽明中建設工事費に1,969万円。▷上庄・下庄公民館の前庭舗装工事115万円。

○…市公害対策審議会委員5人を増員

「市公害対策審議会条例」の一部が改正され、委員定数は5人ふえて17人になりました。この審議会は市の公害対策に関する基本的なことがらを調査審議するため、ことし7月委員12人で発足しました。

これからは公害防止対策がますます必要になることを考え、各部門で専門家に参加してもらい幅広く調査審議するため増員したものです。

○…16号道路中挟中野大橋線に着工

工事請負契約を議決

北部土地区画整理事業区域を東西に走る中挟中野大橋線の工事がこのほど始まりしました。この道路は大橋から国道158号線にのって三番通りの北を東西に、中挟の国道157号線(通称バイパス)に結ぶ都市計画街路。幅員は16号で市街地の交通緩和の役割を果たす幹線道路です。

着工したのは、バイパス側から322号(第1工区)、中荒井側から221号(第2工区)とこれに交差する幅員12号の駅東線124号。

工費は4,170万円。このうち第1工区(駅東線を含む)は工費が大きいことから、9月議会で市と中野一丁目の四方建設株式会社との間に工事請負契約を結ぶことについて議決を得ました。

(人事異動)

市は10月1日付けで次のような人事異動を発令しました。()内は旧任。

▷農務課長補佐兼振興係長中兼惣右エ門(同課振興係長)▷同課農地係長桜田達夫(税務課主査)▷税務課谷脇一治(農務課)。

▷庶務課付(9月1日付け)笹島積(農務課長補佐兼農地係長)。



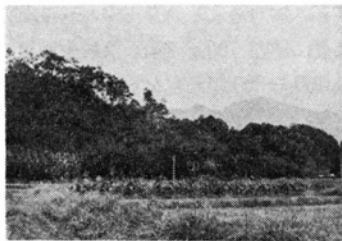
43

おやま 小山城跡

みかど 北御門から医王寺にまたがる城山 じょうやま
は、戦国時代に斯波氏が築いた小山城の跡です。海拔228号の三の平からは四囲の大野盆地が一望のうちにおさめられます。

頂上には堀割のあとがあり、東側には、堀・池・屋敷あとなどが残っていますし、付近に寺道・最願寺・天神堂鍛冶・坊田などの地名のあるところから、昔は小さいながら城下町らしいものがあったと考えられます。

この城を中心とした斯波氏と朝倉氏



の戦いについては、「医王寺真柄文書」に書き残されています。この戦いに討ち死にした人たちの霊をとむらうため、朝倉の一族である光政禅師がお経を一字一字小石に書いて埋めた経塚は、城跡の北西にある尼寺の裏にあります。

(写真は小山城のあった城山)

西部バイパスほぼ完成

11月上旬開通の見込み

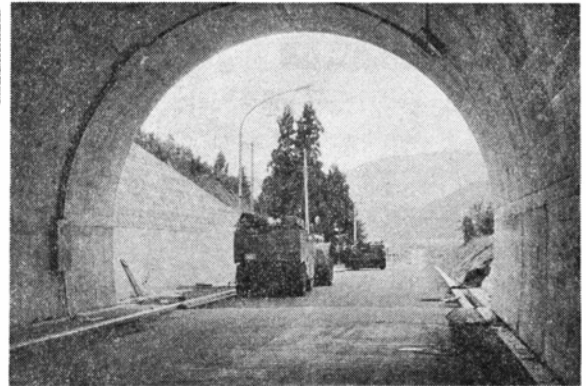
真名川ダムの資材輸送と市街地交通の緩和を目的に建設を進めていた国道158号線大野バイパス(通称西部バイパス)の第1期工事がほぼ完成、11月上旬に開通する見込みです。

この道路は、国道158号線の中野地係(コンデナー工場東側)からはいり、

砂山をトンネル(長さ241㍍)で抜け、鍛掛、赤根川(長さ21㍍の橋)篠座を通り、春日三丁目で主要地方道大野墨俣線と結ぶ延長4.2キロ㍍。車道幅員は2車線で約7㍍、アスファルト舗装のりっぱなもの。

45年9月に着工、46年度末に築造を終え47年度初めから舗装工事にかかり、現在仕上げを急いでいます。

さらにこの道路は、春日から清滝川を渡り、吉、菖蒲池を経て国道157号線の君ヶ代橋まで延長2.1キロ㍍を伸ばす計画です。



完成真近い158号線バイパス、砂山トンネルから

また、中野から君ヶ代橋まで延長6.3キロ㍍が開通したあと、幅員を4車線2㍍と現在の2倍に拡張する計画もあります。

市街地の西部から南部、さらに東部を半円でとりまくこのバイパスは、交通をなめらかにするばかりでなく、この地域の発展に大きな効果をもたらすものと期待されています。

地下水の調査始める

将来の利用計画に備え

近年秋から冬にかけて一部の地域で地下水が枯れ心配されています。

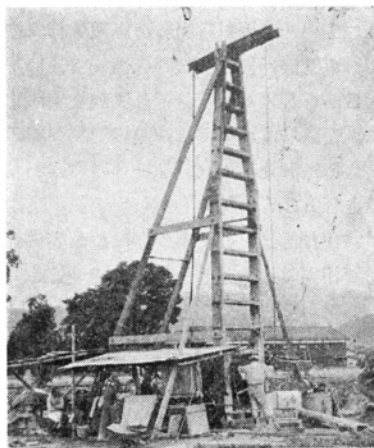
そこで、水量や水脈を根本的に調べ、上水道建設など将来の総合的な地下水利用計画に役立てるため、基礎調査を始めました。

調査地点は、44年に行なった電気探査による地下水調査の結果や専門家の意見を聞いて菖蒲池地係を選び、この地点に直径35㍍の2本の試験井戸を掘って調べます。9月12日から工事を始め、11月中旬までに、1本は地下30㍍、もう1本は120㍍まで機械によって掘り下げます。

ヤグラを組み、おもりを打ち降ろし、土砂や石を砕きながら打ち込むやり方でビーム式と呼ばれています。

工費は646万円。調査は一時的でなく、真名川や清滝川の流量などによって、地下水位がどう変化するかを見る地下水位の調査は半永久的に続けます。

また、この調査結果をみて、さらに詳しく地下水の状況を調べるため、同じような方法で、もう2カ所の地点で調査する計画です。



地下水調査の井戸掘り作業

奥越合同庁舎が完成

仕事は10月9日から

昨年12月から友江地係で建設が進められていた県の奥越合同庁舎が完成、10月3日に完成式を行ない、同月9日から仕事を始めます。

合同庁舎には、県税事務所・林業事務所・奥越農業改良普及所・奥越耕地事務所、四機関がはいります。

庁舎は鉄筋コンクリート3階建て、延べ面積2,022平方㍍。これに鉄筋コンク

リート2階建て、延べ面積310平方㍍の農業技術研修館が併設され、農業後継者の育成、農村婦人の研修、土壌・作物の診断などに利用されます。

このほか倉庫、自転車置場も完成しました。総工費は1億6,500万円。

新庁舎の近くには土木事務所、大野警察署があり、県の関係機関がここにまとまることになります。

友情と連帯を広めよう

10月15日に青年祭

友情と連帯をテーマに次のように青年祭が開かれます。青年のみなさんふるって参加しましょう。

| | |
|-----|----------------------|
| とき | 10月15日(日) |
| | 午前9時30分～午後9時 |
| ところ | 開成中学校 |
| 内容 | ○文化 茶席、琴の演奏、歌唱、バンド演奏 |
| | ○体育 スポーツ、ゲームなど。 |
| | ○ミーティング○営火 |

14日午後6時から五番通りで踊と太鼓の前夜祭も計画。

卓球教室にどうぞ

| | |
|-----|-------------------------|
| 主催 | 市卓球協会 |
| とき | 毎週火曜日と金曜日 午後7時から9時まで |
| ところ | 有終西小学校講堂 |
| | 初心者も歓迎します。 |

お知らせ

●「学制百年記念展」にご協力を

市教育委員会・市文化財保護委員会は11月2・3日の両日、郷土歴史館で学制百年記念展を開催します。

教育百年の歴史を示すような資料が各ご家庭にごございましたら、お貸しくださるなどご協力をお願いします。

○資料提出期限 10月28日(土)

○提供先 郷土歴史館、社会教育課、各公民館、各小中学校。

○特に貴重な文献や物品については、職員がお借りに出向きます。

○提供をお願いしたい文献・物品

昔の教科書・参考書・成績品、卒業証書・賞状・辞令、昔の学校のようなや服装のわかる写真や絵図、校友会誌類昔の文房具(石ばん、石筆、筆箱等)、遊び道具(こま、まり、カルタ、スゴロクの種類)、その他参考になるもの。

●技能士をめざされる方に通信講座

雇用促進事業団が運営している職業訓練大学校は、生産現場で働いている従業員(社員)の方々に技能を身につけていただくため、二級技能士訓練課程の通信講座を実施しています。

募集科は、機械科・板金科・建築科・建具科・洋服科など29科。受講期間1カ年で受講料は年4,000円。いつでも申込みを受けています。

この講座を修了すると技能士の国家検定で学科試験の免除(2級)の特典が与えられています。詳しいことは、市役所商工観光課か福井総合高等職業訓練校へお問い合わせください。

第6回大野市総合文化祭は、11月1日から3日まで市民会館を主会場として開かれます。このテーマ論文と作品を次のように募集していますので奮って応募してください。

◎テーマ「伝統と創作」

だれも気づかない平凡なそれについて大切なものを表現してみたい一つでも手がけて心の広がりとし後世へのしるしとしたい。祖先が残してくれた数多い民具品や芸能がよい手本だ。

これらから祖先が作ろうとした時の心が見えてくる。その心を学びたい。この努力の時、深い雪の中で生き抜いてきた祖先の血が通ってくる。

新しく生きるあすの道がひらけてく

論文、作品を募集します

文化祭の「伝統と創作」

る。血潮がたぎってくる。

1、テーマ論文の部

応募資格=大野市民 /字数=400字詰原稿用紙5枚以内 /締め切り=10月20日 /提出先=大野市天神町1番1号市教育委員会内総合文化祭実行委員会 /表彰発表=入選作3点に賞状と賞品、発表は文化祭会場と新聞紙上で。

2、展示作品の部

種目=絵画、造形(2×2m以内)、工芸、書道、デザイン(B全版以内パネル張り)、写真、その他。 /点数=1人2点まで、未発表の創作品。 /搬入=10月30日午前9時から31日正午までに市民会館へまたは30日午後5時までにもよりの公民館へ。

●農業以外の技能をつけたい人に

県では、農業以外の技能を身につけたい人のために農業者転職訓練を行ないます。

板金科・溶接科は福井専修職業訓練校で、電気機器科は敦賀同訓練校で、11月1日から5カ月間それぞれ訓練を始めます。受講料は無料、訓練施設の長が認めた人には訓練手当(月額約3万円)が支給されるなどの特典もあります。申込期限は10月25日、ご希望の方は農業委員会でご相談の上お申し込みください。

●ノーゴミ運動にご協力を

県は9月21日から10月20日までを「清掃で美しい県づくり月間」と定め、ノーゴミ運動を中心にした県民運動を推進しています。次のことにご協力ください。

- ▷10月は行楽シーズン。観光地や公園・河川・道路などへゴミを捨てない。
- ▷家庭の一般ゴミも少なくするくふうを

●10月12日午前中は停電のため

戸籍謄抄本などは事前に

10月12日午前中は市役所付近が停電のため複写機が使えず、戸籍の謄抄本、住民票の写し、印鑑証明をお渡しできません。これらの申請は、前日か当日の午後にしてくださるようお願いいたします。

●ごぞんじですか押しボタン式信号機

国道157号線(通称バイパス)と陽明中学校前を通る市道が交差する箇所(友江)にある信号機は押しボタン方式です。国道を横断するとき、ボタンを押して歩行者信号灯が青になってから渡ってください。



明治六年三月六日大野地方に起った「大野一揆」の野火は明治新政府の仏教徒弾圧↓主謀者の処刑という経過をたどって悲劇的な結末をとげた。新政府の思想統制は敬神愛国、天理人道、尊皇遵朝の三か条で、仏教・キリスト教共に外教であるとして排斥した。民衆は父祖代々から自分の血肉と化していた仏教への統制に対して、僧侶たちに加えられた政府の弾圧を僧侶たちと共にね返していったのである。去る六月に本町の坂田玉子氏は「大野一揆」を著作し、遠因として大野藩の土族・僧侶・庶民の生活と、それに対する政府の方策を概観し、近因は僧侶の殉難録や当時の文章から言及している。その騒動記録や鎮圧取調べ状況、処刑された人々の記録など多大の古文書と豊富な写真図表を挿入し、郷土歴史研究への前進をうながした功績は大きい。氏はこの研究を続け大野↓越前一揆に発展させたいという。今後の健闘を祈りたい。▼先に「日本の童話のふるさと」上・下巻、また毎日出版文化賞を受けた「日本の幼稚園」を夫君の上笙一郎氏と共著した郷土出身の山崎朋子氏(旧姓大畑、中袂出身)は、その後「愛の鮮血」からさらに「サンダカン八番娼館」を書きあげ、いまや全国ベストテン入りを続けている。北ボルネオのサンダカン島に渡ったカラユキさんの一生を、女性特有の眼でとらえた女性史でもある。だれにも口外したことのないカラユキさんと生活を共にしてまで執念深くえぐった作品だけあって、多くの共感を呼ぶのであろう。▼虫の音も日増しに繁く、やがて細りゆくこの秋、孤燈のもと書に親しむ候でもある。郷土の二女性の労作を紹介して一読書案内の指針としたい。(M生)